

## 高校生「家族」テーマに創作 東信の7校 佐久で企画展

東信地方の高校生が家族をテーマに創作した絵画や立体作品を紹介する企画展「Family 自分をつくってきたもの」が、佐久市佐久平駅北の元麻布ギャラリー佐久平で開かれている。7高校の美術部・美術班の生徒、顧問教諭の計約60人が出品。それぞれが自由な発想で手掛けた作品が並ぶ。

7校は岩村田、佐久平総合技術、野沢北、野沢南（以上

佐久市）、小海（小海町）、上田、丸子修学館（以上上田市）。水族館でシロイルカを眺める弟のかわいい後ろ姿を描いた油絵、妹の誕生日ケーキを表現したアクリル画などが並び、鳥は群れをつくる大家族一との意図で作った鳥の立体作品などもある。

佐久平総合技術高1年の森重勇氣さん（16）＝上田市＝は、両親と弟、自分の茶わんを温かく描いたアクリル画を



家族をテーマにした高校生らの作品が並ぶ企画展会場

出品。形や色が個性を表している一と考え、家族のテーマで真っ先に茶わんが浮かんだという。森重さんは他の作品を見て回り、「自分が思い付かないものがある刺激になります」と話していた。

企画展は、一昨年まで10回

にわたって続いた展示「みなみからきた」が前身。昨年からギャラリー側がテーマを設け、生徒らが創作する形に変えた。10日まで。午前11時～午後7時（10日は午後5時まで）。会期中無休で、無料。